

パブリックコメント 意見募集結果 (佐賀市パブリックコメント制度)

平成26年7月1日(火) から7月31日(木) まで実施しました下記に対する意見募集結果を公表します。

案件名	提出者	意見数	担当部署 (問い合わせ)	支所担当課
・第2次佐賀市総合計画(案)について	0人	0件	企画政策課 企画係 ☎40・7025 FAX29・2095	総務課
・特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例(案)について ・家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例(案)について ・保育の実施に関する条例の一部を改正する条例(案)について	1人	4件	保育幼稚園課 保育幼稚園係 ☎40・7286 FAX40・7395	保健福祉課
・放課後児童健全育成事業の設備および運営の基準を定める条例(案)について	2人	10件	こども家庭課 こども育成係 ☎40・7285 FAX40・7395	保健福祉課 (諸富支所は教育課)

公表先	<p>お寄せいただいたご意見と市の考え方は下記公表先でご覧いただけます。</p> <p>市ホームページの「市政への参加」→「パブリックコメント」 保育幼稚園課・こども家庭課(本庁1階)、情報公開コーナー(本庁1階)、各支所担当課、 市立公民館(旧佐賀市)、市立図書館</p>
------------	--

あなたの人権 わたしの人権

『みんながって、みんないい』

東日本大震災後に、テレビコマーシャルで繰り返し流れていた童謡詩人金子みすゞ(1903～1930年)の詩が人々の共感をよんでいます。

私はよく人権・同和問題の研究で紹介する詩があります。

それは金子みすゞの代表作「私と小鳥と鈴と」です。

私と小鳥と鈴と

私が両手をひろげても、
お空はちことも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面を速くは走れない。

私からだをゆすつても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように、
たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、
みんながって、みんないい。

出典『金子みすゞ童謡全集』
(JULIA出版局)より

この詩が作られた時代は、まだ日本社会の中では、一人ひと

りの人権が認められていませんでした。しかし、私はこの詩に人権の本質を感じることができ

ます。
佐賀市では、「佐賀市人権教育・啓発基本方針」を平成20年に策定しました。

性別・国籍・世代などさまざまに違いを越えて、すべての人権が尊重され、共に支え合い、共に生きることができ「共生社会の実現」をめざすことを基本理念としています。

一人ひとりの個性が尊重され、誰もが自分らしく生きることのできる社会をつくるためには「みんながって、みんないい」と感じる人権感覚が必要です。

みんながって当たり前。
違いは人を豊かにします。
(社会同和教育指導員・西村正元)
※市ホームページにも掲載しています。

◎問い合わせ

人権・同和政策課
人権啓発係(ほほえみ館内)
☎40・7367
FAX 34・4549